



おはようございます。「最近、暑い日もあります。水分補給をこまめに行いましょう。」「まだまだコロナウィルスの感染者が増えています。うがい手洗いを徹底しましょう。」6年生、ありがとう。とてもいいことを言ってくれました。

東京都は3回目の緊急事態宣言が発出されているゴールデンウィークでしたが、皆さん元気に過ごせましたか。

さて、先週、宇宙の話をしましたね。その時に話した星出飛行士とバトンタッチした若田 聡一飛行士が、無事に地球に帰ってきました。よかったです。ところで皆さんはアポロ11号を知っていますか。初めて人類が月に1歩降り立った時の宇宙船です。人類が初めて月面（月）に着陸に成功したのは1969年です。私は小学生でしたので、テレビでアポロ11号の船長、ニール・アームストロングさんが月面に降りてゆっくりとふわふわ歩く姿に見入っていたのを思い出します。そのころかな。アポロというお菓子ができたのは。そのアームストロング船長と一緒に月面を歩いていたのがバズ・オールドリン飛行士です。その二人の姿は世界中の人が見たと思います。有名人になりました。でも、忘れてはいけない人がもう一人いました。「忘れられた宇宙飛行士」「歴史上最も孤独な男」「第三の男」などと語られていますが、二人が月面で活動しているときに、一人司令船で月の周回軌道にいた宇宙飛行士がいたのです。マイケル・コリンズさんです。月の上空を周回する司令船に残り、分離された着陸船イーグル号のアームストロングさんとオールドリンさんの支援をしました。月の裏側に入ると地球が見えませんが、生まれ育った星と人々、そして仲間から、通信も含め切り離された時空を経験しました。再び見えてきた地球は「青と白の宝石」だったそうです。「そこには国境などは無く、人種の違いや大都市と農村の区別もなかった」とおっしゃっています。一面とてもこわれやすいように見えたそうです。月面に足跡を残す榮譽にはあずかれませんが、神秘的な光景に触れることができたのかもしれませんが。そのマイケル・コリンズさんが4月28日、90歳でお亡くなりになったことがニュースになっていました。先日コリンズさんは「地球ほど美しく、こわれやすいものは多くない。ともに守ろう」とネットで呼びかけていたそうです。活躍する人の陰には、それを支えている人がいるのですね。そして、美しい地球、こわさないように、私たちが頑張らないといけませんね。美しい地球を守っていきましょう。私たちに何ができるでしょうか。